

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年3月7日（土）午前10時～11時30分
会 場 駒林西自治会（駒林西集会所）
天 気 くもり
参加者 41人



主な意見等

参加者 4月に大井地区で多目的グラウンドがオープンしますが、駒西のゲートボール場の方も恒久的に確保してもらいたいと思います。使用頻度も少なくないうえ、夏祭り等でも重宝しているため無くなると困ります。

また、自治会館の維持管理の問題です。現在、水道光熱費の3分の2は市に補助されていますが、それ以外の費用も少なくありません。集会所は建てて10数年が経っており、ペンキを塗る必要があります。そしてこれに結構な額がかかります(百数十万円)。これを自治会だけで負担するのは大変です。大井地区の管理体制と見比べても公平になるよう市の支援をお願いしたいと思います。

市 長 施設の維持管理も皆さんの税金を基にしているので、いくつもあつるものを全て維持するのは難しい状態です。かといって、特にお年寄りにとってあまり遠くにある施設では意味がありません。こうした板挟みの中で、近くの施設を統合するなどエリアの中での工夫をしていきたいと考えています。

また、集会所の維持についてですが、大井地域と上福岡地域では集会所の成り立ちが違い、今もその名残があるため不公平感を生んでしまっているようです。どちらのあり方が正しいということはあ

りませんが、市が一体となって支え合っていく必要があるのは確かです。皆さんの税金を基にしていることもあり、こうした問題には慎重にならざるを得ませんが、現状の維持費に関する問題も含め持ち帰って検討させて頂きたいと思います。

参加者 監視カメラについてですが、ひったくりが多くなっているため、抑止力も兼ねて設置してもらえればと思います。住民が個人的に設置することに市が補助を出したりしてもよいのではないのでしょうか。困ったら何でも市に頼るのでなく、住民たち自ら動いて住みよい街にしていければと考えています。また、夜遅くまで人が通る道や一時停止を怠る人が多いT字路など対策を講じるべき場所も少なくないように思えます。すぐにとはいかなくとも安全に生活できる環境を整えていくべきではないのでしょうか。

残念ながらトイレなど公共施設を壊す人がいます。いざ自分が使う時だけでなく、平素から公共のものとして大切にしていこう心掛けるべきではないのでしょうか。

市長 公共施設についてはおっしゃる通りで、皆さんにそういう意識を持ってもらうことが大事だと思います。そして防犯カメラについては市内でも犯罪行為が増えているため、抑止力として期待しているところです。しかし、これについても皆さんの税金を使っているため全域に設置することは難しいのが実情です。そうした中で、例えば設置費用の3分の2は国からの補助を受け、残りは市が負担、管理の方を商店街の負担とするなど様々な協力体制があります。

また、防犯カメラ付きの自販機を試験的に導入しており、これは市や商店街が設置費用を負担せずに済むようになっています。このように地域の皆さんにもご協力いただいたうえで、工夫をしながら広範囲の設置を目指していきたいと考えています。

参加者 ふじみ野駅ができて以来、踏切付近は車道しかないため歩行者や自転車との事故が起きかねないのではないかと危惧しています。市のお金でどうこうではなく、市長の方から東武鉄道に訴えかけて頂ければと思うのですが。

市長 東武鉄道というより県に働きかけています。東武鉄道には上福岡駅前の整備に関する事など年1回の機会に様々な要望を出していますが、相手も民間なので色よい返事が貰えていないのが現状です。踏切の状況については市でも認識しています。車と人の両方が安全に通れるようにしていきたいと考えています。

参加者 ふるさと納税に関しての意見です。新聞を見ると全国1位の平戸市では12億。県内では鶴ヶ島などが力を入れていて、自治体によって大きな差があるように思えます。埼玉県は特産品などでわかりやすい魅力を打ち出しにくいかとも思いますが、ふるさと納税は大事な財源となるのではないのでしょうか。ふじみ野市も魅力あるものを考えてみてはいかがでしょうか。

市長 ふるさと納税については、新聞はもちろん、議会でも話題になっています。財源確保の手段として有効だと思うので何ができるかを考えていきたいと思えます。ただ、ふじみ野市の特産品といえば、ハウレンソウ、さといも、かぶですが、これだけでは少し弱いのではないかと思っています。またふじみ野市は、よそからきた住民の方が多いため、以前居住していた市町村に寄付が流れてしまう傾向があるようです。今後はこうした課題を何とか克服し、少しでも財源確保を図っていきたいと考えています。

ここで、保育所に関する事も話させていただきます。耐震強度不足のため公立保育所2園が廃止になります。しかし、この4月には新たに3園作る予定があり、待機児童は17名にまで減らせています。引き続き努力し、これを0にしていきたいと考えています。選挙運動等で保育所のことが不十分な伝わり方をしてしまい、皆さんにこうした正確な情報が伝わっていない恐れがあります。

ふじみ野市は平成18年にプール事故が起こったこともあり、よその市以上に安全面に気をつけなければいけません。今、保育所関連で批判を受けていますが、まずは安全な保育所を作ることが最優先だと考えています。この取り組みが周囲に正しく伝わっていけば更なる人口増加にもつながると期待しているものです。

参加者 防災訓練についてですが、地域ごとの特異性があるため、それに合

わせた災害対策ビデオを市で作っていただけないでしょうか。集会所などに置いてもらえればどこかに出かけなくても各自で予習できると思います。また、自治会によっては集会所にテレビやビデオがないのでこちらも併せて考えていただきたいと思います。

市長 災害の備えで一番大事なのは皆さんの意識だと考えています。感情や意識は時が経つと薄れてしまうものです。職員にも常々言っていますが危機意識を絶やしてはなりません。ご意見については、消防本部の防災館でビデオを流しているのもそういうものを活用して自治会などでも見てもらえるようにしていきたいと思います。

参加者 まずは給水対策についてです。駒西小付近には2万人くらいの住民が住んでいると思いますが、あの付近に水道管を配備してはどうでしょうか。

次に火災に関してです。一度燃え広がってしまえばバケツでの消火活動は間に合いません。そこで消火栓を一般の人にも使わせてはどうでしょうか。これはよその自治体でやっているところもあるようです。そうすることで住民も具体的な自主防災の準備ができると思います。

また、防災訓練の時に感じた事です、市の職員がいざとなったら浮足立ってしまうのではないのでしょうか。有事の際に落ち着いた対応ができるよう、平素から問題意識を持って準備することが必要ではないのでしょうか。

市長 やはり飲料水の次には生活用水が必要です。防災用井戸も小学校などに設置されています。また、上福岡、大井エリアは循環式の貯水槽があります。これから増やしていくならどの程度増やすのか検討しなくてはなりません。有事のための水や食料は市や県も準備をしますが、ぜひ皆さんの家でも備蓄していただきたいと思っています。有事への備えはし過ぎるということは決してなく、おっしゃるように学校に給水施設を作ることも有効な手段となるので検討していきたいと思っています。

また、住宅密集地で怖いのは火災です。災害規模が大きい時にあちらこちらで起きている火災にどう対処していくかということです。一番大切なことは、どんなことをしても皆さんには生き延びて

もらわねばならないということですから、水道管がだめになった時のことなどを考え、消火栓に直結した放水も検討していこうと考えています。

職員についても、いざ災害が起きたら様々な想定外があると思います。指定職員もいざという時に機敏な行動と的確な判断を取れるよう訓練につとめますが、万が一職員が来られない場合でも皆さんでリーダーシップを発揮していただきたいと考えています。消防団員も経験が少ない人は的確な判断ができませんし、命令系統は1本にして迷わず動けるようにしなくてはなりません。また、皆さんの方でも地域でこう動こうというような準備をしておいてもらいたいと考えています。

参加者 消防車が何かあったら通れないような所なので消火栓を使ってもいいなら訓練をしてもらいたいのですが。

市長 これについては消防本部が動くこととなっていますので言っていただければと思います。

参加者 防災訓練についてですが、避難場所までの看板を直していただきたいと思います。電柱にあるのですが角度によっては見えません。

また、防災訓練の時に端の方にいると防災無線が全然聞こえません。何かうまい方法はないでしょうか。男の人より女の人声だと比較的よく聞こえるようなのですが。

市長 持ち帰りまして、担当に伝えます。